

記

一、事業主側

會社側ニ於テハ本月四日重役會議ヲ開キ種々対策協議セルカ  
目下ノ經濟狀態ニテハ工場ノ閉鎖ノ作業ヲ繼續スルコトハ不  
可能ナリトシ當初ノ計畫通りニテ進行スルコトヲ期スルニ當  
其他ニ關シテハ四圍ノ狀況ヲ考慮スルコトナリ此ノ旨  
當應調停課ニ申出タルヲ以テ七月廿七日爭議團幹部ヲ當應ニ招致  
シ此ノ旨通告セリ

二、爭議團側

爭議團本部ニアリテハ既報ノ如ク所轄砂所等原瀨巡查ニ暴行  
後關係者ハ逃走シ所在不明トナレルヲ以テ本部ニ集合セル者  
約百名ニ減ジ從テ氣勢萎靡ヲサレニヨリ之カ挽回策ヲ講ジツ、  
アリ

本月五日午后四時頃勞農黨首大山郁夫ハ爭議團本部ニ來訪シ大

要左ノ如キ激勵ノ辭ヲ述ベタリ

「ブルジョア階級ノ現在ノ富ハ吾々勞働者ヨリ搾取セル血ト  
脂ノ結晶ナリ然ルニ横暴ナル資本家地主ハ猶飽キ足ラズ骨ヲ  
モ抜キ取ラントスル狀況ニアリ吾々ハ奪ハレタル生産ヲ奪還  
スル為資本主義社會ニ敢然ト斗争ヲ開始シタル諸君ハ大川財  
團ヲ脅懾シ以テ最後ノ勝利ヲ得ベク益々團結シ勇戦ナル斗争  
ヲ續ケラレン事ヲ熱望ス」云々

翌六日午後六時ヨリ本所公會堂ニ於テ大島製鋼及東洋モスリン  
兩爭議批判演說會ハ勞農大衆兩黨主催ニテ開催セルガ來會者  
約千百名アリ糸士トシテ麻生久、大山郁夫外十七名出席シ、兩爭  
議ニ對スル取締警察官ヲ非難攻撃セルガ糸士中麻生久ノ言辭  
不穩、暴アリ中止ヲ命シタル外事故ナク今十時十分散會セリ

(詳細別報)

其他爭議團首腦部ニテハ連日爭議日報ヲ発行セルガ該日報ハ